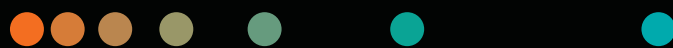


第12回中四国臨床工学会 スポンサードセミナー1



www.siemens-healthineers.com/jp

日時：2022年**10**月**1**日(土) 14:05～15:05

会場：岡山コンベンションセンター 第1会場

演題：**透析液濃度測定の標準化と血液ガス分析装置による
透析液濃度管理のポイント
～透析液の性質を理解する～**

座長：北原 崇之 先生
重井医学研究所附属病院 臨床工学部副主任

演者：清水 康 先生
元町HDクリニック 臨床検査部 技師長

透析液は、直前に希釈調製されるため成分濃度（希釈混合比率）を管理する必要がある。そのためには透析液の電解質が精確に測定出来る装置の使用が不可欠となる。また、CDDS では調製後の経時劣化を pH や $p\text{CO}_2$ で確認することも重要となる。今回、分析装置を用いて透析液品質を管理する際のポイントについて説明する。

共催：第12回中四国臨床工学会
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

SIEMENS
Healthineers